

## 「アイヌ語」開講記念講演会（第5回）

## いまを翔るアイヌ文化

国際日本学部国際文化交流学科に2024年4月から開講された科目「アイヌ語」。その開講を記念する5回目の講演会を、2025年8月9日、千葉大学名誉教授の中川裕先生を講師に招いて行いました。

中川先生はアイヌ語の専門家として研究や執筆、教育普及などの活動に勤しまれるほか、漫画やアニメの『ゴールデンカムイ』でアイヌ語監修を務め、実写映画の『ゴールデンカムイ』ではアイヌ語・文化監修として関わるなど、語学だけに留まらないアイヌ文化への深い見識を活かし、多方面で活躍されている方です。今回の講演会も、何十年の間アイヌの人々と向き合ってきた中川先生ならではのお話を聞くことができました。

では、ここでみなさんにいくつか質問です。「アイヌ」と聞いて何を思い出しますか？ アイヌ語を話すのはどの時代のどんな人だと思えますか？ 現代のアイヌの人々はどこにどのように暮らしていると思いますか？

講演会でまず紹介されたのは数々の映画です。アニメや実写の『ゴールデンカムイ』以外にも、

アイヌを取り上げた映画が近年いくつも公開されています。歴史の中の一民族として登場するのはもちろんですが、現代のアイヌの人々の日常をドキュメンタリータッチに描いた作品や、狩猟や漁撈をする姿に密着したもの、東京で暮らす人々へのインタビュー、さらにアイヌの自身による短編など、その数は2020年以降で既に10作ほど。これらの映画は「アイヌは北海道で暮らす人々」というステレオタイプはもう古いことを示すだけでなく、民族の伝統と日常生活の濃淡をありのまま観る人に伝えます。また中川先生は『ゴールデンカムイ』という漫画や関連作品について、「アイヌを取り上げた作品を作っていいんだ」と社会が認識するきっかけとなった」と指摘しました。ではもしこのきっかけがなかったら？——今回の講演会には70人の参加者が集まりましたが、『ゴールデンカムイ』が存在しなかったら、この講演会に足を運ぶ人ももっと少なかったかもしれない。

続いて紹介されたのは、現代のアイヌの人々の姿です。国内外で活躍するミュージシャン、伝統的な音楽を現代ならではの表現に昇華させるグ

国際日本学部 国際文化交流学科 廣瀬 富男

ループ、森の回復に取り組む人、狩猟をする人、インフルエンサー、アパレル、研究者、出版社……。アイヌ語講座に参加する人や指導者、研究者ももちろんいます。アイヌ語は過去に日本の同化政策により抑圧されたものの、現代において家族内や世代間でその継承を実現できた例も示されました。アイヌ語は決して「死語」などではなく、現代でも確実に息づいていることがわかります。

同時に、アイヌの人々をとりまく環境も変化しています。そのひとつとして挙げられたのは大学という場でした。札幌大学にはアイヌのルーツを持つ学生を支援する仕組みがあり、アイヌ文化を学習する活動も行われています。さらに、北海道の白老しらおいに2020年に開業した『ウポポイ（民族共生象徴空間）』には『国立アイヌ民族博物館』をはじめとした関連施設がありますが、ここにアイヌ語や歌、舞踊、工芸などのいろいろな技能を持つ人材も集まっているそうです。文化の担い手として、また現代を生きるアイヌとして、継承と発展が続いていくであろうことが、とても楽しみだと感じました。

講演会終盤にはウェブコンテンツも紹介されま

した。アイヌ民族文化財団のウェブサイトの膨大なページでは、料理講座の動画も、物語のアニメーションも、アイヌ語の辞書として使えるアーカイブも、とにかく本当にたくさんコンテンツが無料で公開されており、一日ではとても見終われません。文化を発信する切り口が多種多様で、これを読むあなたが関心を持てる入り口も必ずあります。

この講演を通じて、アイヌ文化の教育や発信がさまざまに実現しているのだと鮮烈に感じました。年配者だけでなく若い世代にも、そして北海道内だけでなくいろいろな場面で、つまり「世代」という縦の流れと、「場」という横の広がり、幾重にも展開しているその状況はとても力強く、まさに「いまを翔ける」という印象です。そして現代のアイヌの人々の姿を知るとともに、並走してこられた中川先生の言語学に留まらない視野と来し方に、アイヌ語を研究するというのはアイヌ民族や人そのものにも向き合うことなのだと深く感じ入りました。そして、文化とは人の営みそのものなのだというのを改めて感じる機会になりました。

〈執筆協力〉成瀬裕子

（多摩六都科学館プラネタリウム解説員）

神奈川大学国際日本学部国際文化交流学科

## 「アイヌ語」開講記念講演会（第5回）

主催：神奈川大学人文学会



### いまを翔るアイヌ文化

中川 裕

（千葉大学人文科学研究院 名誉教授）

【日時】2025年8月9日（土）16:30～18:00

【会場】みなとみらいキャンパス 米田吉盛記念ホール

<入場無料>

◇ 参加を希望される方は、右のQRコードよりお申し込みください ◇

【問い合わせ】廣瀬 富男（国際文化交流学科）tomio@kanagawa-u.ac.jp

